

# ワールドカップ宮崎大会エイジグループ参戦記

山本 彩

10月30日今年最終戦として宮崎大会に参加してきました。  
例年だとKTCカップでシーズン終了なんですけど今年はラッキーにもJTUのエイジランキングのポイントが稼げて、「あれ！もしかしたら年間ランキングとれるかも？」ということで7月末に急遽エントリーしました。  
コースはにがてな直線どフラットと180度Uターンの繰り返し。9月のオーストラリア大会が終わってからスイムとUターンの練習を頑張りました。

今年の大会はKTCのメンバーと同行することがほとんどだったので超方向音痴の私でも安心していられたのですが初めての宮崎で一人旅。案の定、前日の行きも帰りも大会当日の行きも帰りも道に迷い、有料道路にバイクで入り込み叱られたりの珍道中。  
受付会場で坂尻さんのお顔を見たときはほっ！としました。



さてレースです。ランキングをとる為には1位でフィニッシュしなければなりません。スタートリストからマークする選手は千葉のTさんと決めました。Tさんには石垣で勝ってるもののスイムが速いし、ランは同じくらいバイクで追いついて逃げるしかないと作戦？を立てました。

スイムはさすがサーフィンのメッカのシーガイア。波がうねってます。1周目めは順調に泳げ、前のウエーブのキャップも追い抜きます。しかし2周目に入ってからうねりが高くなりブイを見失って大回り、トランジットに戻った時は同じキャップの人もいっぱい。  
やっぱり隣のTさんのバイクはありません。

バイクは有料道路の直線コースをMの字に2周回。  
Tさんはお尻にネームの入ったジャパンのウエアなので探しながら追いかけます。1周目追いつけず。。。あれだ！と思って加速するも近づけば名前が違う；；そんなことを繰り返しながら32Km過ぎでようやくパスしました。あと8km。少しでも差をつけなければと必死でペダルを回しました。



(バイク心拍数)



(ラン心拍数)

ランは海岸沿い公園内をうねうねと4周回。曲がるたびに後方のTさんの姿が見えるので気にしながら必死で走ります。Tさんとの距離は離れも近ずきもせずそのままです。プールで一緒のエリートの選手の声援を励みに必死で走りました。なんとか逃げ切ってフィニッシュゲートへ。やったー！勝ったー！思わず両こぶしを握りしめました。(あとでリザルトを見たらTさんの30秒後に3位の選手が…全くノーマークでした。やばかった；)



今回はどうしても勝たなかったのでもいつもは安全第一のスイムも最初から攻めました。トランジットも全力で走り、バイクも必死、ランも時計を見る間もなく逃げました。初めて心拍計をつけましたがバイクもランもバクバクです。

「やればできるじゃん！」、いつもやれよ！」と天の声が聞こえてきま

今年は3月の台湾から始まり、石垣島、宮古島、愛媛、五島と北上し日和佐、富山、オーストラリア、宮崎、とロング2、ミドル2、.OD5、と9大会に参戦。すべてKTCの仲間とKTCのウェアを着て戦いました。



みんなで練習したり、大会にでたり、反省会したり、宴会したり。一年間KTCの仲間と切磋琢磨できてとても励みになり、刺激になり、楽しかったです。ありがとうございました。

今年最後の大会で一年間愛用したKTCウェアで表彰台の真ん中に立てたのは最高でした。やっぱり「入って良かったKTC！」これからもよろしくお願いします。

